



どんな学校？

課程： 全日制・普通科

創立以来110年以上にわたり受け継がれてきた自主自立・自学自習・文武両道の校訓のもと、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）や学力向上進学重点校エントリー校として、確かな学力を基礎に、論理的な思考力を基本とした科学的リテラシーとグローバル社会で生きぬく国際性の育成を目標としています。「未知に、挑もう。」のスローガンのもと、探究活動を通し、生徒の学力、進路・進学意識をさらに向上させ、バランスの取れた人材を育成します。



どんなメンバー？

学校 横須賀高校科学部27名

地域 ・横須賀市環境政策部環境企画課
・万代テラコヤ実行委員会



どんな団体？

<横須賀市環境政策部環境企画課>

市内の環境活動団体、学校及び市等の環境への取組を紹介するとともに、楽しみながら環境への興味・関心を深めるイベント「横須賀かんきょうフォーラム」を主催。「横須賀市いいね★エコ活動賞」は市内の環境活動を表彰する制度です。

<万代テラコヤ実行委員会>

民間有志で構成され、実業家である万代順四郎より寄贈された「万代会館」で活動している。寄贈者の意志を受け継いで、子どもたちの教育に寄与する活動を行っています。

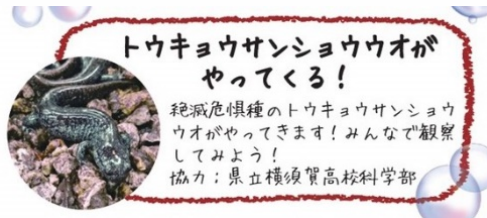


はじめたきっかけは？

生徒が、学校近辺で絶滅危惧種である「トウキョウサンショウウオ」を偶然発見。そこで、環境保全に詳しい地域のNPOや博物館の方々の協力を得ながら、科学部が生態調査や保全活動に取り組むことになりました。

その成果を、横須賀市主催の「横須賀かんきょうフォーラム2020」に参加し、発表したところ、「横須賀市いいね★エコ活動賞」一般の部で「トウキョウサンショウウオ保全賞」をいただきました。

より多くの人に「トウキョウサンショウウオ」を通じて自然環境について知ってもらい、環境保全につなげるために、小中学校向けにワークショップを開催したり、地域のイベント「万代テラコヤ」等に参加し、啓発活動を行っています。



(テラコヤのチラシより抜粋)

神奈川県教育委員会教育局
指導部高校教育課高校教育企画室

この冊子はホームページにも記載しています →



すくくこみ!

～コミュニティスクール事例集～



学校名

横須賀高等学校

活動名

トウキョウサンショウウオの保全活動
(地域連携部会・SSH部会)

取組紹介

取組内容

時数	内容
1	学校近辺で「トウキョウサンショウウオ」を発見
2	保護活動と生息地の環境整備
3	活動を地域へ
4	地域の環境保全を目指して

1 HOP

2016年3月

「トウキョウサンショウウオ」は絶滅危惧種で、その生息地は神奈川県内では三浦半島だけ。その「トウキョウサンショウウオ」を学校近辺で偶然発見する。

2 STEP

2016年4月～

個体数を増やすため、保護活動を開始。卵塊を採取し、生物室で孵化変態まで飼育し、元いた生息地に放した。同時に地域の専門家の方に「サンショウウオ」について教わりながら、保全活動も開始。自然環境で自立できるように、池を作るなどの環境整備を行う。

3 JUMP

2017年～

「トウキョウサンショウウオ」のことを、多くの人に知ってもらいたい、自然環境や生物多様性について考えるきっかけにしてほしい、そんな思いから小中学生向けに実験教室や、ワークショップ等を開催。さらに地域のイベント「万代テラコヤ」などに参加し啓発活動を行う。継続的な保護・保全のために、近隣の県立高校3校と連携し、『里親会』を発足、活動を続けている。



(卵塊から生まれたトウキョウサンショウウオの幼生)

4 FLY

「トウキョウサンショウウオ」の生態や人工繁殖について研究し、保全活動につなげたい。「トウキョウサンショウウオ」が自然繁殖できるような環境を整備する活動を継続し、次世代に繋げたい。

生徒の感想

「トウキョウサンショウウオ」の発見をきっかけに、絶滅危惧種の保護・保全について考えるようになりました。私たちの活動をきっかけに多くの人に知ってもらい、三浦半島の自然環境について興味を持ってもらえたらと思います。

地域の感想

地域のイベントでは、年齢を問わず様々な人が関心をもっていました。生徒さんの活動内容や「トウキョウサンショウウオ」の話聞いた子どもたちが、たくさん質問をしていました。

先生の思い

「トウキョウサンショウウオ」の発見を機に、生徒が地元環境や地域に興味を持ってほしいなあ。